熱中症のリスクを見える化して
安心できる
教育環境づくりをサポート。

熱中症のリスクは気温、湿度（しつど）、
日射などから受ける熱で決まります。
中でも湿度（しつど）の影響が大きく、
肌感覚では気づきにくいことがあります。

ダイキンの「熱中症対策システム」は、
教室はもちろん、運動場、体育館にもセンサーを設置し、
熱中症のリスクをわかりやすく数値で表示。
状況によって、エアコンを自動運転したり、警戒レベルになると、
光とブザーで知らせたりして、
熱中症対策をバックアップします。

ダイキンは空気の状態を見える化する技術で、
安心で、快適な教育環境づくりをサポートしています。

空気で答えを出す会社 DAIKIN